



あやめ原こども園 令和6年4月

## ご入園 ご進級おめでとうございます

春の暖かい陽気と共に、新しいお友達を迎え、心新たに令和6年度がスタートしました。

幼児期は生活体験を通して、お子様方の感性が育つ時期です。日々の遊びを大切にしながら、友だちや先生と一緒にいる楽しさを感じ取ってほしいと願っています。園という場所が居心地よく、自分自身を十分発揮できる場となるように、これからご家庭と園とで力を合わせて進めていきたいと思っております。

ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



### 保育目標

- ☆ 個々の欲求を満たし、安定した生活が送れるようにする。
- ☆ 新しい環境のなかで、安心して遊ぶ。

## ☆お願い・お知らせ☆

- \* 登園が9時30分を過ぎる時や欠席の時は、必ずご連絡をください。
- \* 前日や朝に体調の変化がありましたら、必ずお伝えください。  
(熱・腹痛・嘔吐・下痢・湿疹など)
- \* 誕生会の日のご飯は要りません。(4,5歳児さんは箸箱を持たせてください)  
《今月は、17日(水)です。》
- \* 24日(水)のお弁当の日、お弁当、デザート、お箸(スプーン・フォーク)・水筒を持たせてください。
- \* 進級児も新入児と同様、新しい環境に戸惑ったり、いつもと違う様子が見られたりするかもしれません。些細なことでもお知らせ下さい。



日	曜	行事予定
1	月	対面式(園児のみ) お便り配布
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	英語教室
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	誕生会
18	木	体操教室
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	子育て支援
24	水	お弁当の日
25	木	
26	金	防災訓練
27	土	
28	日	
29	月	昭和の日
30	火	お便り配布



## 「しつけない」しつけのレシピ



乳幼児期は個人差や個性による違いが大きいものです。わがままを通して自分との折り合い方を学び、いたずらを通して未知の世界を探索するのです。乳幼児期にそのような姿があることは当たり前のことで、それに対して「しつけができていない」というのは違うようです。それでは、どのように「しつけ」を行えばいいのでしょうか。  
「強制型しつけ」と「共有型しつけ」に分類してみたいと思います。

### 「強制型しつけ」

- 子どもに考える余地を与えず、すぐに答えを教えてしまう
- 子どもに対して指示的・命令もしくは禁止をするような関わり

### 「共有型しつけ」

- 子どもをひとりの人格を持つ存在として尊重
- 子どもとのふれあいや会話を大事にしつつ、楽しい経験を子どもと共有しようとする関わり

### ☆イヤイヤ期のかかわり「しつけない」しつけ

具体的にどうしたらよいのでしょうか。イヤイヤ期の例を通して考えてみましょう。

(例)

夢中で遊んでいる子どもに…「そろそろお散歩行こうか」と声をかけると→すべてに「いや!!」  
背中を撫で…「まだ遊んでいたいの嫌だったね」→涙をぬぐいながらおもちゃをいじる  
少し気持ちが収まった頃、「お茶飲んで、お外に行ってみる?」→「うん」  
「〇〇ちゃんとお散歩、先生うれしいな」→「〇〇ちゃんも!」とにっこり嬉しそうな〇〇ちゃん。

このような例から、次のようなポイントがあげられます。

- 共感する(スキンシップや気持ちを言葉にしてあげるなど)
- 待つ・見守る(気持ちが切り替わる時間をゆっくり待つ)
- 選択肢や見通しを示す(「こうしてみる」など、子どもが選択できる言葉かけ)
- I(アイ)メッセージ(「ありがとう」など、大人の気持ちを伝える)

このように、子どもの気持ちに寄り添った結果

大人が強制したり叱ったりして厳しく教え込む「しつけ」をしていなくても子ども自身が自分で気持ちをコントロールすることにつながったのです。

つまり、これが『共有型のしつけ』でもあり、「しつけない」しつけでもあるのです

